

製品名: GRO γ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11790**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	CXCL3 CXCL3; GRO3; GROG; SCYB3; C-X-C motif chemokine 3; GRO-gamma(1-73); Growth-regulated protein gamma; GRO-gamma; Macrophage inflammatory protein 2-beta; MIP2-beta
別名	
遺伝子 ID	2921.0
SwissProt ID	P19876
免疫原	抗血清はヒト GROgamma 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 58-107

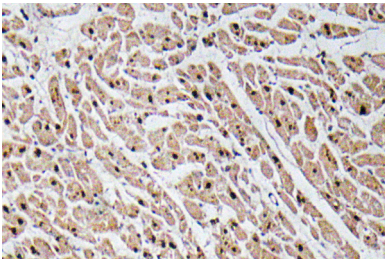
背景

この抗菌遺伝子は、ケモカインの CXC サブファミリーに属するタンパク質をコードする。コードされているタンパク質は、G タンパク質共役受容体である CXC 受容体 2 を介してシグナル伝達する分泌型成長因子である。このタンパク質は炎症において、また好中球に対する走化性因子としての役割を担う。[RefSeq 提供、2014 年 9 月]、機能: CXCR2 のリガンド (類似性による)。好中球に対して走化性活性を有する。炎症において役割を果たし、オートクリン的に内皮細胞に影響を及ぼす可能性がある。試験管内実験では、処理された形態の GRO- γ (5-73) は、好中球顆粒球に対して 5 倍高い走化性活性を示す。、オンライン情報: CXCL3 エントリ,PTM: N 末端処理形態の GRO- γ (5-73) は、末梢血単球から分泌された後、タンパク質分解によって生成される。、類似性: インタークリン α (ケモカイン CxC) ファミリーに属する。、

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;ケモカイン;

画像データ



パラフィン包埋ヒト心臓組織における GRO α 抗体の免疫組織化学分析。